

パラフットボールボランティア研修【9月11日(金)18時30分～20時30分13人参加】

18:30～18:45【アイスブレイク(1・2・3!) (漢字一文字)】

18:45～19:30【デフサッカー (U23監督) 中山剛氏、日本代表キャプテン岡田侑也選手】

19:45～20:30【静岡救命サポート協会 増田功雄氏】

【アイスブレイク】

アイスブレイク 1・2・3!

今回のメンバーは、視覚障害の方、聴覚の障害の方も参加です。

伝える、伝わる工夫で楽しくなりました。

外側を向いてよりも、前を向いての方が安心、アイコンタクトができることを確認しました。

一通りやったあと、次は、「日本語禁止」にしたら、どんなアイデアが出てくるのか。多様な人がまじりあったときにも使えるようなアイスブレイクです。

【デフサッカー】

中山さんから、デフサッカーについて具体的に学ぶ。全国の競技者の状況や一般のサッカーとの違いがわかりました。静岡の選手が高校卒業後、静岡を離れて、大学、職場で活躍していることを知り、びっくりです。応援する仕組み、広報等の大切にも気付きました。

情報の確保や伝える、伝わるにもついても興味深い話を伺えました。

体験では、数字を伝えるから、食べ物の名前を伝えるなど段々難易度があがります。最後の食べ物では、ラーメン、うどん、そばなどまちまちの答えで思わず笑いも。

岡田選手からは、サッカーへの思い、選手同士のコミュニケーションのこと、必死で手話を学んだ時期のことなどを伺いました。真摯にサッカーへ向き合う姿、デフサッカーでも活躍するためにコミュニケーション手段獲得への努力などアスリートとしてのプライドが伝わってきました。

【心肺蘇生】

松本山鹿の練習中に亡くなった松田選手についての動画から始まった研修でした。あらためて心肺蘇生とAEDの使用の必要性を学びました。

心肺蘇生の大切さ、死戦期呼吸のことなどを学び、正しく圧迫すると音が鳴るハート形のクッションを活用しての体験でした。押す深さ、押すスピードを意識しながらの実践。1分間押し続けることのしんどさを実感し、ここでも周りと連携することの大切さを学びました。実際に起こったことを想定して行う2人組の実践とおして、救急車の依頼、AEDの依頼など「声を出す」、「お願いする」、長く続けるために「変わる」、「変わってもらう」経験を積み重ねることが大事だということあらためて感じました。

【振り返り】

今回は、感じた感想を表した漢字一文字選び、その漢字を説明しながら振り返って頂きました。

「関」、「連」人のつながり、「継」続けることの大切さ、「動」、「難」、「学」、「知」など皆見事に感想を一文字に表していました。